

松本局長の異動履歴
※配属当初の役職を記載しています。



大

先輩職員が語る

島根県職員のこと



採用試験を実施する人事委員会事務局と、採用・配属先を決定する人事課の管理職が語る、これからの島根県庁に必要な人材。

MATSUMOTO YOKO
X
KYOTANI DAISUKE

奥ゆかしくも、
キラリと光る“ひと”がいる。

松本 お互い県職員生活が長くなっていますが(笑)「島根県職員」といって印象に残っているエピソードはある？

京谷 他県の職員から「島根県職員は政策立案能力が高い人が多いですね」と言われたことがあって。

松本 うれしいですね。

京谷 島根県は課題の多い県ですけど、解決に向けて職員がよく考えて、議論をすることが組織の伝統としてある。そばにいる誰かが助けてくれるんですよね。あまり一人で悩んだりすることもなくて。「ああこの人に相談してみようかな」、みたいな。

松本 若い時は上司や同僚に頼りになる人がいて、役職に就くと頼りになる部下が支えてくれている。組織全体で成果があげられるというか。

色々な仕事があるので、
アクティブ、コソコソ...
様々なタイプの人材が必要！



人事委員会事務局 局長

入庁 36 年目

松本 洋子

MATSUMOTO YOKO

新規採用時の思い出

汎用コンピュータを使ってデータ処理をする仕事で、プログラムを一から勉強する必要があった。ただ、上司や先輩方は皆優しく丁寧に指導して下さった。プライベートも職場の方と飲み(飲めないけど)に行ったり、冬にはスキーに出かけたりと、毎日が楽しくて仕方なかった。「仕事って、こんなに楽しいものなんだ」と思った。

京谷 法令に強かったり、めちゃくちゃ人脈を持っていたり。島根県の方は奥ゆかしいので、自ら「こんなことができます」と言う人は少ないけど、相談してみると結構すごいというか、キラリと光ると言いますか。

松本 そういう人が、いろんなところに散らばっている。これが、うちの組織の良いところかな。

京谷 人あつての組織ですから。適材適所の人材配置で、組織のパフォーマンスは大きく違うと思います。

松本 まだ先は見えないけれど、アフターコロナも含めて、本当にこれから課題満載。

京谷 少子高齢化という切り口では、島根はトップランナーですからね。

松本 定住施策やしまね留学など、全国に先駆けた取り組みも多い。トップランナーとして、他の自治体から追いかけているから、そこは知恵(人々の力)で走り抜けないと。「我々はここ(島根)で生きていく」という決意で。そんな島根を守る仕事は、より地域に近いほうがいいかなと思われるかもしれないけど、どうかな。

京谷 たとえば、国の省庁は住民や現場からは遠いけど、日本全体や、全世界を視野に入れて法律や制度を作る仕事が多い。逆に、市町村役場は住民や現場に近い仕事が多い。県は、真ん中どころの面白さがありますね。制度と現場の距離感がいいな、と思う。

島根県の
求める人材

- 県を取り巻く情勢や県民の皆さんの声に敏感である人
- よく考え、よく議論し、創造する人
- 何事にもチャレンジ精神を持って取り組む人

① 自分のサイズで、生きていい。

いいけん、
島根県



京谷課長の異動履歴

※配属当初の役職を記載しています。



松本 本庁で施策を考えるにしても、地域の実態を知っているというのは大切。私は、浜田でも勤務したけど住んでみないとわからない地域の魅力や有り様を知ることができたと思う。

京谷 本庁も地方機関も両方経験してもらう方が良いでしょう。職種にもよりますが、本拠地(自宅があるなど生活の中心となる地域)を離れる異動がそんなに多いわけではないし、引っ越しが必要な異動はできるだけ家庭の事情等に配慮しますし。

松本 そうやって、現場のニーズを知って、事業を考えて予算を獲得して実践、といったダイナミックな仕事もできるしね。

京谷 狭すぎず、広すぎず、私にとって **ちょうどいいサイズ** の仕事感(笑)

1

松本 一方で、たとえば職員の給与を計算して支払いをするといった、一見地味で地域とのつながりの薄い仕事もある。

京谷 そういう仕事は、コツコツ積み上げるタイプの人が向いていますよね。

松本 私はそれもすごく大事だと思う。みんなが安心して働けるためには無くてはならない仕事。

京谷 そうしてみると、県庁にはあらゆるタイプの人たちが、活躍する場がある職場かもしれませんね。

松本 地域の方々と一緒に活動したり、企業を誘致したり、観光を盛り上げたり、一見華やかに見える仕事がある一方で、後方で組織を支える仕事もある。そういう多様な仕事を支える多様な人たちがいる組織と言えるのかな。

京谷 仕事がいっぱいあるから、自分に向いている仕事を見つけられそうな気がしますね。

松本 これは自分に合わないな、と感じても異動で違う職場に行く可能性もあるし。

京谷 それにしても松本さん、いろんな仕事をしておられますね(笑)

誰もが力を発揮できる、幅広く多様な仕事。

松本 大学生の方の中には、いろいろやりたいことがあって進学したのに、この2年間コロナで何もできず、無力感がある人もいるかもしれない。でも、県庁に入れば思い切り力が出せる、社会のためにできることが沢山あるよ、と。

京谷 そうですね。

松本 それに、学生の方が思うほど、公務員はデスクワーク中心で堅い仕事だけじゃないから。自分は公務員のタイプじゃないとか、そういう時代じゃないと思う。あんな仕事もこんな仕事も広がっているので、まずは **覗いてみて欲しい。**

2

京谷 前例の無い課題に向かっていくためには、いろんな経験や知識を持っている方が必要ですね。また、同じ方向だけでなく、違う視点をもっている人もいいですね。そういう意味で、社会人経験のある人とか、地域に入り込んで活動していた人とか、**様々なタイプの人** に受けてもらいたい。

3

松本 姿勢としての求める人物像は掲げているけど、全体として自分の仕事がどう県民の方々に影響するのか想像できる人に来て欲しいかな。

京谷 県外出身でも「島根が好き」という理由で県職員になってくれる人もいます。

松本 違う風土で育った人が、島根に興味をもってくれるのは面白いこと。島根県のことを気に入ってもらえたら、是非チャレンジしてみたい。働いているうちに知り合いはできるし、地域のつながりもできるから。

京谷 県の仕事の幅はすごく広がっている。だからこそ、いろいろな人が活躍できる組織になっている。

松本 そういことも知ってほしい。こちらからも発信していかないとね。



根底に、思いやりや下支えのマインドがある人が良いと思います。

新規採用時の思い出

港湾空港課に配属になり、平成5年7月に開港した石見空港の開港イベントなどを担当した。初便が石見空港を出発するとき、地元の方が本当に嬉しそうに飛行機に向かって手を振っておられた。自分の関わった仕事で県民の方にこんなに喜んでもらえるんだと実感した初めての経験で非常に印象に残っている。

総務部人事課長

入庁 29 年目

京谷 大輔

KYOTANI DAISUKE

2 県職員のあるな仕事、こんな仕事

採用情報サイト

しまねっこCH

70人以上の先輩メッセージを掲載中!



職種の紹介動画やホンネ座談会など配信中!



3 様々なタイプの方が受けやすい試験

大学卒業程度試験(4月試験)

特別な公務員試験対策は不要で、より幅広く多様な方が受験しやすい試験を実施しています。対象職種は行政、農学(農業・畜産)、林業、総合土木で、6月試験と併願も可能です。

島根創生推進枠採用選考試験

新しいキャリア採用試験です。民間企業等で培った知識、経験、新たな発想や視点を活かして、「島根創生」の実現に向け、即戦力として活躍して下さる方を求めています。

試験制度の変更についてはこちらから!

